

北星学園大学 求める教職員像

北星学園大学及び北星学園大学短期大学部（以下、「本学」という）の建学の精神は、キリスト教精神に基づいた人格教育であり、そこで培われた「人間性・社会性・国際性」を備えた人材の育成です。高き教養と人格の確立を目指した本学の教育は、多くの有為な人材を世に送り出し、社会の高い評価を得て今日に至っています。

これらの理念を実現させるためにふさわしい組織を目指し、本学では求める教職員像を以下のとおり定めます。

- ・キリスト教（プロテスタント）に基づく教育に賛同でき、協力できる者
- ・教授、准教授、専任講師、助教、助手それぞれに必要な教育研究上の業績及び能力を有し、常に自らの知識、能力及び技術の向上に努められる者
- ・高等教育機関の事務職員に必要なコミュニケーション能力・企画立案能力・創造的思考力などを有し、さらに、大学の機能強化を図るために必要な国際的な理解・外国語の能力、情報通信技術（ICT）等の専門知識を積極的に身につけ、自らの能力を開発する向上心がある者
- ・本学の理念を深く理解し、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの3つの教育方針の実現に貢献できる者
- ・教育、研究、社会貢献、そして大学・短期大学部及び部局の運営において自らの使命を自覚し、国際的な視野を持って、それらの発展に寄与するとともに、高い倫理性をもって遂行できる者
- ・高等教育を取り巻く環境の変化や高等教育に対する様々な要望に対して、柔軟に対応できるバランス感覚と実行力がある者
- ・本学の教育・研究・大学運営・学生支援等あらゆる活動において、積極的に学生と関わり、教職員と協働できる者

北星学園大学 人材育成の目標・方針（教員・職員共通）

北星学園大学・北星学園大学短期大学部（以下、本学）では、「学校法人北星学園 中長期計画～ブランドデザイン 2020－2040～」に基づき、2040 年に向けて北星ブランドを確立し、新たな人文社会系の総合大学を目指すことを確認しました。本学の建学の精神である「人間性・社会性・国際性」を実質化し、これまでの教育・研究の見直しと同時に、人文科学・社会科学に+ α の強化を加え、社会の変化に対応し乗越える人材の育成を検討事項として掲げています。

さらに、学園として「教学」「経営・管理」「財政」の3課題に取り組むことで、中等教育部門と高等教育部門の連携強化を図り、真の意味での“総合学園”を目指すことも併せて確認しています。

これらの目標を実現するためには、本学の求める教職員像を土台として、その能力の養成と向上が必要不可欠です。そこで、対象者の役職や経験に応じた適切かつ最適なFD・SDを組織的かつ体系的に実施していくために、人材育成の目標・方針を以下のとおり定めます。

- ・建学の精神とキリスト教（プロテスタント）に基づく教育を実践するため、自学の歴史や理念を含む大学コミュニティの理解・浸透を図る
- ・アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの3つの教育方針を適切に運用していくため、FD・SDの充実を目指す
- ・教学、経営・管理、財政を含む総合的な大学マネジメント能力と、自己が有する知識・スキルを土壌とした専門的な能力を養成・向上させるため、目的別に研修を実施・提供する
- ・役職や経験に応じて、求められる資質の向上と必要な知識・スキルを身につけるため、階層別に研修を実施・提供する